



福智町 議会だより

Fukuchi
Town
Council
News

Vol.10
2010.3



主な内容

- 12月定例会報告 1ページ
- 各常任委員会報告 2～3ページ
- 請願・陳情紹介 4ページ
- 一般質問(5議員) 5～9ページ
- 学校給食センター特集 10ページ



12月定例会報告

平成21年第4回定例会が、12月8日から開催されました。すべての議案・請願・陳情は、12月15日に原案可決・原案同意・採択されました。



会期日程	●12月 8日(火)	●12月 9日(水)	●12月10日(木)	●12月11日(金)	●12月14日(月)	●12月15日(火)	●12月16日(水)	●12月17日(木)
	本会議(第1日)	総務文教常任委員会	厚生常任委員会	産業建設常任委員会	予備日	本会議(第2日)	本会議(第3日)	本会議(第4日)

※日程が繰り上がり、12月15日に閉会しました。

議決結果

議案第73号 福智町税条例の一部を改正する条例について
地方税法の一部改正に伴い、条例の一部を改正しました。

議案第74号 福岡県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について
福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について

議案第76号 福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の減少について

議案第77号 福岡県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

議案第78号 福岡県介護保険広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県介護保険広域連合規約の変更について

議案第79号 福智町固定資産評価審査委員会委員の選任について
委員の任期満了に伴い、平野健氏・白川勝廣氏・葛原直文氏を選任することに同意しました。

議案第82号 田川郡町村公平委員会委員の選任について
委員の任期満了に伴い、千手律子氏を選任することに同意しました。

議案第83号 平成21年度福智町一般会計補正予算(第4号)について
予算の総額に3億3,920万3千円を追加し、予算の総額が165億8,068万8千円となりました。

議案第84号 平成21年度国民健康保険福智町立診療所事業特別会計補正予算(第2号)について
予算の総額に404万5千9百円を追加し、予算の総額が10億4,316万2千円となりました。

第六・七回臨時会報告

11月25日に第六回臨時会「議案第71号審議」、11月30日に第七回臨時会「議案第72号審議」が開催されました。結果は次のとおりです。

12月定例会には、たくさんの方が傍聴に来ました。

◆本会議傍聴者 **25人**
◆委員会傍聴者 **7人**
※延べ人数です



議案第71号 福智町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について………否決

議案第72号 福智町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について………原案可決

人事院勧告を受け、一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律が制定されたことに伴い、本町職員の給料月額・期末手当および勤勉手当の額の改定・時間外勤務手当の支給割合の改定ならびに支給割合の改定・時間外勤務交代休時間の新設をおこないました。

◎第六回臨時会では「職員給与は各自自治体が条例で決めており、国にすべて従うようでは地方自治は成り立たない。」などの意見が出され、否決となりました。しかし、第七回臨時会で執行部より「財政的に余裕があると国が判断し、交付金を減らされる可能性がある。」などの説明があり、採決の結果、可決となりました。

総務文教常任委員会

委員長 池永利治



【付託案件】
議案 第73号・83号
請願 第3号・第5号

意見 町税や使用料などの納期が、月に2回ある場合は、何らかの緩和措置を講じてほしい。

意見 社会福祉協議会へ2千万円の貸付が補正予算で計上されているが、他団体から貸付の申し出があった場合はどうするのか。貸付ではなく、補助金として支出し、早急に社協は合理化へ取り組みべきではないのか。

予算計上・行政の説明に、不透明さを感じる。

厚生常任委員会

委員長 堀江政洋



【付託案件】
議案 第83号・84号 陳情 第6号
請願 第2号・4号

付託された議案2件・請願2件・陳情1件について慎重審議した結果、すべて可決・採択すべきものと決定しました。

委員会で、委員会の主な意見や質疑は、次のとおりです。

問 社会福祉協議会へ、年間6千万円の補助をしているが、今回の補正予算で2千万円の貸付金が計上されている。補助する基

答 H21年度を精査したところ、約1千2百万円の赤字がある。今回、2千万円を貸し付けることにより赤字を解消し、今後には助成金の減額を進めながら、人件費の削減や車の台数等を整理し、赤字が出ない10年計画を立てている。また健全な財政とするために、社会福祉協議会で財政検査委員会を立ち上げ、財政健全化計画の審議をおこなっている。

問 貸付とした理由は、

答 合併前は約4千万円の赤字が出ていたが、毎年の赤字を補てんするため、剰余金を充てていき、すべて使い切った。今年度については、2千万円の貸し付けを行わないと、約1千2百万円の赤字が出る。しかし今年度の当初予算で6千万円の計上をしており、この金額を上回る助成は避けたい。そのため貸付としている。

問 今回の貸付金は、いつから償還するのか。

答 H25年度から、無利子で償還してもらう。

問 水道料金の未納があるのに、無利子で貸し付けをするとは、いかがなものか。また、社協は赤字になったら償還すると評議委員会に言っている。しかし、今のやり方は赤字にならないのでは。

答 社協が、そのように説明をしたのであれば残念に思うが、財政課と協議しながら、財政計画の見直しをおこなっている。再度社協には確認をしたい。

意見 通常の社会福祉法人が行っている事業をしているのに、利益が出ていない。一般の社会福祉法人は、利益を出しながら、経営をしている。その努力が見えないのに、

町が支出することは、おかしいのではないのか。

問 福智町には、多くの社会福祉法人があるが、そこも貸してくれと言ってきたら貸し付けをするのか。貸し付ける基準は何か。

答 社会福祉法に基づき、条例で貸付基準を定めている。

問 貸し付けではなく助成の方がよいのでは、という意見もある。計画を立てているが返せる保証もないし、今回貸し付けると、その他の社会福祉法人にも貸し付け、という問題も出てくると思うが。

答 全般的に判断する。

意見 社協に対しては、自立に向かつてほしいという気持ちがあるので、厳しい意見が出ている。しっかりと行ってほしい。



▲福智町社会福祉協議会。早急な経営の立て直しが迫られている。



請願・陳情紹介

可決された請願・陳情を要約してご紹介します。



請願第4号

エコポイント制度並びにエコカー補助金の継続実施を求める意見書提出に関する請願

【請願内容】 緊急経済対策の一環として進められている『エコポイント制度』と『エコカー補助制度』は、国民の人气が高く、関係業界も継続を強く望んでいます。この制度の目的は、個人消費を喚起し、環境負荷の少ない低炭素社会への転換を進めることですが、その役割を十分に果たしたとはいえ、更なる継続が望ましい状況です。今後、懸念される（景気の二番底）を避けるためにも、景気浮揚の取り組みは重要であり、低炭素化を推進する施策についても、手を抜くわけにはいきません。今後も更なる波及効果が期待できる、エコポイント制度とエコカー補助金制度を来年度以降も継続するよう強く要望します。

【請願結果】 この請願は採択され、内閣総理大臣・総務大臣・経済産業大臣・環境大臣に意見書を提出しました。



請願第5号

改正貸金業法の早期完全施行等を求める請願書

【請願内容】 経済・生活苦での自殺者が年間7千人に達し、自己破産者も18万人を超え、多重債務者が200万人を超えるなど、深刻な問題を解決するため、平成18年12月に改正貸金業法が成立しました。成立後、政府は多重債務者対策本部を設置し、相談窓口の拡充、セーフティネット貸付の充実、ヤミ金融の撲滅、多重債務問題改善プログラムなどを策定し、官民が連携して取り組んだ結果、多重債務者は大幅に減少し、平成20年の自己破産者数は13万人を切り、多重債務対策は成果をあげています。しかし、一部には改正貸金業法の完全施行の延期や、貸金業者に対する規制の緩和を求める論調もあります。バブル崩壊後の経済危機の際は、貸金業者に対する不十分な規制の下に、商工ローンや消費者金融が貸し付けを伸ばし、その結果自殺者が3万人を超え、自己破産者も10万人を突破し、多重債務問題が深刻化しました。改正貸金業法の完全施行の先延ばしや、貸金業者に対する規制緩和は、再び自殺者・多重債務者などの急増を招きかねません。そこで国に対し、次の事項を要望します。

- ・改正貸金業法を早期に完全施行すること。
- ・自治体での多重債務相談体制の整備のための予算を十分確保し、相談窓口の拡充を支援すること。
- ・セーフティネット貸付をさらに充実させること。
- ・ヤミ金融を徹底的に摘発すること。

【請願結果】 この請願は採択され、衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・法務大臣・金融担当大臣・消費者庁担当大臣に意見書を提出しました。



陳情第6号

介護保険料の引き下げと減免を求める意見書に関する陳情書

【陳情内容】 福岡県介護保険広域連合は、72の自治体でスタートしましたが、平成22年には33の自治体になろうとしています。介護保険制度は、住民が利用した介護サービスの約半額を、住民で相互に負担しあう制度となっているため、行き届いた介護をすればするほど、保険料が引き上げられます。福岡県介護保険



請願第2号

子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書提出に関する請願

【請願内容】 細菌性髄膜炎は、乳幼児に重い後遺症などを引き起こし、死亡に至る恐れが高い重篤な感染症で、その原因の75%がヒブ（Hib=ヘモフィルスインフルエンザ菌b型）と肺炎球菌です。細菌性髄膜炎は早期診断が困難であり、発症後の治療は限界があり、予防が重要となります。世界保健機関（WHO）はワクチンの定期予防接種を推奨しており、90カ国以上で定期予防接種がされ、この国々では発症率が大幅に減少しています。日本は、ヒブワクチンが平成20年12月に販売開始となり、小児用肺炎球菌ワクチンは、平成21年10月に初承認され、平成22年春までに販売開始予定となっています。しかし、任意接種であるため、費用負担が大きく、公費助成や定期接種化など、子どもたちの命を守るため、早急な対策が必要です。よって、次の事項を要望します。

- ・Hibワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの有効性、安全性を評価したうえで、予防接種法を改正し、Hib重症感染症を、定期接種対象疾患に位置付けること。
- ・ワクチンの安定供給のための手立てを講じること。

【請願結果】 この請願は採択され、内閣総理大臣・厚生労働大臣に意見書を提出しました。



請願第3号

緊急経済対策の早期実施を求める意見書提出に関する請願

【請願内容】 地方は、平成21年度第一次補正予算による経済対策の執行を前提とした補正予算を編成し、国からの交付・執行に備えていました。しかし、政府が約3兆円の執行停止を決定したことにより、地方では減額補正を迫られ、その影響が直接、間接的に国民生活に及ぶことは、避けられない状況です。平成22年4月までの間、予算の執行停止による、約半年間の空白を避けるため、早急に第2次補正予算を編成し、緊急経済対策を実行するよう次の事項を要望します。

- ・景気を安定軌道に乗せる施策に取り組むこと。
- ・雇用調整助成金制度を維持するための予算確保、訓練・生活支援給付の恒久化、非正規労働者向け対策、新卒者対策を行うこと。
- ・『エコポイント制度』の簡略化や対象品目の拡大を検討・継続すること。
- ・エコ改修、耐震化、バリアフリー化など、社会資本ストックの保全事業の前倒し実施すること。

【請願結果】 この請願は採択され、内閣総理大臣に意見書を提出しました。

広域連合も、当初2,908円の基準額でスタートした第1号被保険者の保険料が、今ではグループ別保険料の導入によって、3グループに分けられ、Aグループは2.2倍の6,275円（日本最高額）、Cグループでも1.3倍となっています。また、全国的に高騰する保険料を抑制するため、介護サービス利用の抑制が図られたことによって、福岡県介護保険広域連合では、近年黒字が発生し、借入金の返済も平成21年には終わる見通しで、基金も17億円になっています。この基金は、第1号被保険者に還元されるべきものです。この基金を活用すれば、保険料を引き下げることができ、所得の低い人への保険料の減免をすることができます。これらの財源を活用し、保険料を引き下げ、減免制度を設けるよう要望します。

【陳情結果】 この陳情は採択され、福岡県介護保険広域連合長に意見書を提出しました。

付託された議案1件について、慎重審議した結果、可決すべきものと決定しました。委員会での主な意見や質疑は、次のとおりです。

問 道路橋りょう費の説明を。
答 古門高木橋線の工事費で、補償費については、事前事後調査に伴う損失補償。堀川線は当初、概算予算で見込んでいたが、設計が確定したことにより、補償費が増額した。



▲橋などに看板を設置し、日王の湯をPRする。

問 堀川線は、どこを補償するのか。
答 堀川線は、どこを補償するのか。答は、入り口付近の舗装工事（寄せの工事）や大浴場の改装（ジェット風呂などの新設）、看板設置など。



【付託案件】 議案 第83号 ▲給食センター建設工事現場

問 赤池の川端ポンプ座は、7月24日～25日にかけての集中豪雨で、2機のうち1機しか作動しなかった。そのため水につかり、苦情が出ている。今後の対策は。
答 総合的に判断し、決定した。

産業建設常任委員会 委員長 大島勇夫

による家屋補償・工作物補償・動産移転料。
問 各ランクが参加できる工事金額（発注標準金額）の説明を。
答 Aランクは全事業に参加できる。またAランク・Bランクは、土木一式では6千万円未満、建築一式では8千万円未満の事業に参加できる。Cランクは建築・土木一式ともに2千5百万円未満、Dランクは1千2百万円未満の事業に参加できる。



現地視察

産業建設常任委員会では、5箇所での現地視察を行いました。

赤池駅付近急傾斜地崩壊対策工事【赤池】



▲法面崩壊地域としてH19年度より着工し、H24年度末に完成予定。

古門高木橋線【方城】



▲沿線家屋の鉋葺復旧に伴う道路かさ上げ工事で、H21年度末に完成予定。

中尾高尾1号線道路改良工事【赤池】



▲中尾保育所前（赤池）の町道を、生活道路として拡幅改良する。H21年度末に完成予定。

丸山住宅【方城】



▲老朽化による建て替え工事で、木造平屋建て18戸を新築する。H21年度末に完成予定。

※給食センター建設現場も視察しました

一般質問 12月定例会

●掲載文字数に制限があるため、質問事項の多くを省略しています。詳細については、議会事務局に保管していますのでお尋ねください。



浦田光由 議員

質問 合併後に調整しなければならぬ事項を、合併協議会で話し合いました。それから4年目を迎えるようになっていますが、最終的に協議会で決められたことが、どこまで進んだのかお尋ねします。

回答 【副町長】人件費の問題、公共事業の統廃合は思いつくに進んでいません。合併後、新しい町長も5カ年計画ができましたので、合併時と比べて多少違いがあることは、仕方ないと思っております。

質問 合併前後、また新しくなった町長の考えで変わっていく。行政の継続性をどのように考えていますか。合併前に決めたことは、継続していかねばならないのではないですか。町長がかかわったから基本計画が変わった、それは合併前の町民や我々議員に嘘を言ったことになりませんか。行政には継続していかねばいけないことがあります。合併前に決めたこと、一番大事だったことは、施設の統廃合と職員数の整理です。町長が違う方向に行こうとすれば、副町長・各課長が、正していくべきではないですか。

回答 次に、要望書の取り扱いについてお尋ねします。各課を通じてあがってくるものが要望書ですか、それとも町長がひとりで受け取るものが正式な要望書ですか。

回答 【副町長】必ず総務課を通して処理する事となっております。

質問 薬剤師会からの要望書に、町長は勝手に色んな答えを出しています。何事も自分ひとりで何もかも決めては。要望書は行政側が精査した上で、町長に上申しているのではないですか。

回答 【副町長】各課で話し合い、優先順位を決めています。

質問 町長は、要望書でないものを要望書として取り上げています。年度内に、コスモス診療所の院外薬局を決めることを副町長に指示をした。

回答 【副町長】課長たちは何も聞いていない。1月に開催された診療所改善協議会で、初めて知ったのではないですか。

回答 【西診療所事務長】その場で初めて知りませんでした。

質問 町長。各課長の具申・提言をよく聞いていただき、要望書については平等に取り扱っていただきたい。

回答 次に、基金等についてお尋ねします。合併前は、どのくらいありましたか。

回答 【財政課長】基金は、赤池町が33億5078万6千円、金田町が55億3811万1千円、方城町が26億4590万1千円です。地方債は、赤池町が56億211万1千円、金田町が76億1148万6千円、方城町が95億6130万4千円です。

質問 合併後4年になりますが、金田地区はぜんぜん進んでいません。例えば団地の建て替えにしても、方城は早くからしている。方城は全て平屋

で、赤池は4階建てが建設されている。今後、方城方式を進めていくのですか。全て平屋にするのですか。

回答 【副町長】方城町のときは、住環境を重視し1戸建てを進めてきました。今後は、地域の方たちの意見を取り入れ、住宅改善を図っていくと思えます。

質問 福智町として、今後統一していただきたい。今の建て方で、先々のコストはどうなっていくのですか。

回答 【住宅課長】木造は耐用年数が約30年。現在建設しているRC中層・高層で100年対応できます。

質問 土地の有効利用はどう考えていますか。

回答 【住宅課長】広い敷地があれば、平屋等に建て替えができますが、団地によっては、敷地は狭いが入居者の戸数を確保しなければならない場合もありますので、そのときは中層・高層になります。

質問 住人の意見をよく聞き、建て替えをしていただきたいと思えます。次に入札についてお尋ねします。赤池・方城・金田地区に入れる業者を旧町ごとに決め、合併後すつこの方法で行っていますが、このままだと福智町はひとつになりません。確かに地域性はあるでしょう。しかし、チャンスは皆に公平・公正に与えるべきです。業者は「生懸命納税義務を果たし、指名願を出しています。町長はいつも公平・公正と言っています。義務を果たしている町民に対し、公平にチャンスを与えていただきたい。町長、あなたは義務を果たしていますか。

回答 【町長】今、示唆をいただいたことをしっかりと受け止め、行っていきたいと思えます。



黒川 公弘 議員

質問 平成19年4月に議会に出させていただき、2年8ヶ月が経過しました。その間、特に執行部の皆さん方には、非常に協力をお願いしたと思っております。そして、いろんな聞き取り調査の中で、私が大変感心したことは、皆さんの心構えが「一歩前進した」ということです。やはり、「こうしなければいけない、こうすべきだ」という意見が、多数を占めるようになってきました。それで、私も一歩進んだと思います。2年8ヶ月が経ち、やはり一歩前進できたという点では、非常に貴重なものだとはいえるのではないのでしょうか。言いかえるならば、平成22年度に向かって、行政改革が必ずや前進できるものと期待をし、また感謝をいたしておるつもりでございます。

中でもある課長に、行政改革とはどういふものですか、行政改革についての基本的な理論はどうですか、とお尋ねしたところ、「歳入を確保し、歳出を抑制、そして組織のスリム化、これが基本です。もちろん一番主なことは、人員の削減です。機構改革、また施設の統廃合も必要不可欠です。」と、即言いつつ切った方もいました。当然、理解できている方もいるのです。分からない方も大多数いるとは思いますが、実は私自身も、皆様方との交流の中で覚えてきたので、幾分か知識は

ありましたけれど、行政改革とは何ぞやと、議会に出て多くの点を学んだというわけです。

やはり執行部が率先して、徴収関係、税金、その他のいろんなスリム化、機構改革はもちろんです。今、それをあなた方が、初めて自覚していただいたというところは、私も本当に「今までは行かない」と思っています。また、いろいろな推進委員会や委員会などをつくっても、それぞれが立ち上がらなければ、絶対にこの改革は進まないということ、改めて自覚していただく事ができたと、痛感しているところです。そこで、進歩はあったと執行部の皆さん方に、改めてお礼を申し上げた次第です。話は変わりますが、コスモス診療所方城診療所、今年度はどのくらいの赤字を見越していますか。

回答 【コスモス診療所事務長】一般財源の3000万円を繰り入れた中でも、なおかつ5500万円前後の赤字となります。

質問 今年削減をした。その削減をした中でも、赤字が約1億5000万円出ることを自分でおかし。私は常に言っていました。機構改革をしないと、これは公共施設の統廃合にもつながらない。少しでも無駄を省き、収入を健全化しませんか。健全な財政をつくる、ということが基本です。

とにかく、やる気があるというところを、今回皆さんから聞くことができました。重ねて期待をしております。平成22年3月には退職される方もいます。中には素晴らしい方もおられます。こういう人材は、大変貴重な存在です。退職される方については、本場に長い間、ご苦労でした。ありがとうございます。この場を借りて、感謝の意を表します。ありがとうございます。以上。



▲コスモス診療所



▲方城診療所

(赤字解消の対策が急がれる)

※一般質問は受付順に掲載しています。



渡邊文敏 議員

質問 給食センターの進捗状況および操業に向けた取り組みはどのようなものですか。

回答 【教育長】平成22年12月26日完成予定です。3月には試運転を行い、調理・配送ルートの確認をし、試食会も計画しています。

質問 10月に開催された給食センター運営委員会の中で、操業にあたって大きな問題がある、この話が出ました。ひとつは職員同士のコミュニケーション、もうひとつは調理の仕方です。十分な試運転を行い、コミュニケーションが取れるようになるために、この期間の取り組みはありますか。

回答 【学校教育係長】2月末の完成後に、検査等約1週間かけて行います。その後、学校が春休みに入りますので、それまでの間に機械の調整を行い、休みに入った23日以降に給食センター職員を集め、調理の実習・配食の調整を行いたいと考えています。

質問 操業開始はいつですか。

回答 【学校教育係長】新学期が始まり、学校給食の開始と同時に操業開始を予定しており、準備期間としては約2週間を予定しています。

質問 職員同士のコミュニケーションや機械操作など、この期間内にできますか。今からでも、赤池・方城の給食センター職員が交流しながら、コミュニケーションを取っていく方法を考えていただきたいと思います。次に食材の調達方法ですが、以前に食材調達委員会をつくり、検討したいとの話がありました。しかし、

し、いまだに実行されていません。12月22日に食材納入業者が集まってもらい、説明会を行うと聞きましたが、それならば委員会を設置する必要がないのではないですか。まず、委員会を立ち上げ、そこで検討し、その後納入業者に説明、という流れが正しいのではないかと。

回答 【教育長】以前から給食センターに納入をしている方、また新規参入を希望している方を集め、こちらの条件等を提示し、了解を得て、その後、物資選定委員会の骨格を作成したいと考えています。

質問 地産地消の問題もあり、地元農家の方からなるべく仕入れるなど、このようなことを含めて委員会を検討を重ね、その上で納入業者へ説明すべきだと思います。委員会は、いつ立ち上げるのですか。間に合いますか。

回答 【教育長】年明けにならうかと思っています。

質問 以前から、この問題について言ってきました。なぜ早く取り組まないのですか。時間がないから今まで通りで、という事になれば、財政改革には全くつながりません。良いものを安く仕入れる努力をしてほしいと思います。次に給食センターの職員配置ですが、この点も考えていますか。

回答 【町長】職員間のコミュニケーションが取れ、安全・安心な給食ができるよう、環境づくりも含めて正規の職員・臨時職員を適正に配置したいと考えています。

質問 金田の給食室は、調理員の方がほとんど臨時の方です。その分、報酬も少ないわけですが、仕事は全く同じことをしています。新しい給食センターに職員が何人配置されるのかわかりませんが、金田の方式で行うと、約5千万円の人件費が削減できます。9月の決算特別委員会の際に、学校教育課長が4月に向けて検討していきたいと言っていました。しかし、

どのように考えていますか。

回答 【町長】ハブンスを取ることも非常に大事であり、職場のやる気にもつながりますので、このようなことも含めて具体的に決めていきたいと思っています。

質問 具体的に決めるのは、どのように決めていくのですか。財政改革を目指すならば、今が絶好のチャンスではないですか。いつ頃に決めるつもりなのですか。

回答 【町長】年明け後にも、教育委員会や人事担当と話し、ハブンスの取れた職場環境をつくりたいと思っています。

質問 公共工事についてお尋ねします。旧3町ごとの落札した業者の割合は、赤池地区の業者が62.5%、方城地区は66.7%、金田地区は35.4%となっています。地域性等を考慮しての結果かも知れませんが、あまりにも均衡が取れていません。格差があり過ぎます。福智町全体には1-4業者ありますが、落札した業者は60業者、残りの54業者は一回も受注できていません。この結果をどのように思いますか。

回答 【町長】営業・経営努力をしていただきたながら、業者の方にはがんばっていただきたかと思っております。私共もできる限り検討はしていきたいと思っております。

質問 町長、そうではありません。指名を受けていないのです。指名を受けていなかったら、落札もできません。せめて、公平に指名していただきたい。町長は、業者の努力などと言いますが、やはり広く指名に入れる方法を取っていただきたいと思っています。大変、不景気な時期です。このような状況だと、倒産する会社ばかり出ると思います。入札については、配慮していただき、均衡の取れる方法を取っていただきたいと思っています。

回答 【町長】多くの業者が入札に関われるよう、環境づくりに努力していきたいと思っています。

うと、郡の町村長会で話しました。

質問 子どもの対応については、どう考えていますか。

回答 【教育長】うがいとマスク着用は学校できちんと指導し、各家庭にも協力を願おうというところで、プリント類を配布しています。また、感染者が増えた場合は、学級閉鎖・学年閉鎖もあり得ると思います。

質問 介護問題についてお尋ねします。私は11月から各現場を視察し、そこで調査あるいは勉強をさせていただいたのですが、現場に入り、再度理解を深めることができました。介護関係者には、心から感謝を申し上げたいと思います。介護は、誰もが度は関係しなければならぬと言われています。現在、どのような介護対策をしていますか。

回答 【福祉課長】介護教室などを開きながら、介護の予防に取り組んでいます。

質問 昔は2世帯や3世帯の家族構成で、同じ家族が多く、病院や施設を利用することが多くなりました。そして約85%の方が施設や病院で人生を終えます。介護については、今現在いろいろと厳しい条件がつけられ、介護に携わる職員も減ってきています。介護の養成学校は4年前に比べると、生徒が半減したと新聞報道されていました。また、「きつただけ給料が安い」とも掲載されています。しかし、これから高齢者はますます増えていき

ます。今後、介護に携わる方たちの待遇も含め、養成が必要になってくるのではないかと懸念しますが、町長はどのように考えていますか。

回答 【町長】私も母の介護をした経験がありますので、自分自身の生活や、家族にも影響を与える度合いが大変大きいということも、身をもって感じました。現在、福智町は人権と福祉の町づくりを進めています。家族だけの介護が厳しい状況の中、地域で予防などの取り組みができないかということ、計画をつくり実行に移しています。予防的な対策として、町内にはふれあい交流などがありますので、これを各地区に広げ、お互いの精神安定にもつなげていき、そのことが身体的な健康にもつながるとい取り組みを進めていきたいと思っています。また、食生活推進協議会もありますので、食生活の面でも健康管理ができるように、環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。

質問 介護保険料についてお尋ねします。個人の収入などによって保険料は違います。福岡県介護保険広域連合の会議に、町長は出られていると思いますが、どのような考えをお持ちですか。

回答 【町長】田川市郡の市町村長で議論しながら、課題が解決できるように、努力は続けていきたいと思っています。

質問 今後、ますます高齢者は増え、介護を必要とする方は増え続けます。福智町においても町長を中心に、しっかりと介護に対して力を入れていただきたいと思います。質問を終わります。



杉本数男 議員

質問 新型インフルエンザの流行も収まってきましたが、予断を許さない状況にまだあります。今回の新型インフルエンザは、毒性が低く適切な予防・手当てで、多くの方が救済されました。しかし、もし悪性で多くの方が命が失われるような状況であれば、今のような対応だと、大変なことになります。病院は、県で決められたワクチンしか割り当てられず、要望しても対応してもらえません。また、人の命がかかっているにも関わらず、国は予算案で750億円を削減します。ワクチンは国内生産がわずか、残りは外国からの輸入です。日本は医学的に進んでいます。ワクチン製造を2社だけにするのではなく、もう少し手を広げて製造すれば、皆の手に届いたのではないかと思います。診療所にお尋ねしますが、どのくらいの方が、新型インフルエンザの予防接種を待っていますか。

回答 【面診療所事務長】12月中旬時点で、「アムス」ス診療所は約1200人、方城診療所は約1000人の予約があります。

質問 ワクチンの問題について、田川市郡の首長会議などで話し合い、国や県に交渉はしましたか。

回答 【町長】知事会や市長会なども連携を取りながら、ワクチンの確保に向けて取り組んで



学校給食センター特集

今まで、たくさん話し合ってきた給食センター。4月から、いよいよ稼働します。

ここが気になる

食器はどうなる？

今まで、赤池はアルマイト食器、方城は樹脂製食器を使用していました。これからは保温性の高い、温かみのある磁器製の食器になります。



どうやって運ぶの？

調理された給食は、各学校のクラス別に分け、3台の配送車に搬入します。その後各学校へと配送されます。



車で配送中に給食は冷めない？

調理後すぐ、保温・保冷に優れた二重構造の容器に入れ、その容器をコンテナに積み込むので、移動中に冷めることはありません。



メニューや味は変わる？

味が変わることはありません。メニューも大きくは変わりません。新しい食器は、保温性があるので、さらに美味しく感じるかもしれません。



給食センター室内や調理器具、実際に調理している現場などは、後日くわしく掲載したいと思います。



今までの流れ……

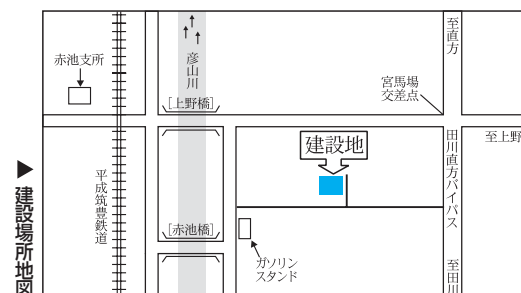
町内8校で統一した学校給食センターを計画

中 ▼ 止

赤池給食センターの改築を計画するが、方城給食センターも老朽化が進んでいたため、統一して学校給食センターを計画する

工事 ▼ 着工

平成22年2月末完成



施設紹介



◀ 鉄骨造2階建て、建築面積は延べ1,464㎡あります。通常は約1,500食を調理します。

▶ 食材を搬入する場所です。野菜や肉などの全ての食材をここから搬入し、中の調理場へ運びます。



◀ ここで調理された給食を積み込み、3台の配送車が各学校へ運びます。



高津鶴己 議員

【質問】7月の集中豪雨の際、防災行政無線は放送しましたか。

【回答】【総務課長】大雨洪水警報、土砂災害警報の発令などお知らせしていました。

【質問】戸を閉めるなどして「聞こえない」状態だと、スピーカー（拡声機）は各集会所などに設置していると思いますが、聞きやすくなるための調査などは行っていますか。

【回答】【総務課長】設置当初に、地域、地形にあわせて音量を変え、全世帯が聞こえるように計測を行い、町内103ヶ所にスピーカーを設置しました。

【質問】避難勧告や避難命令などは、聞こえなければ防災行政無線を設置した意味がないのではな

いかと思います。音量調査や設置替えなど、検討して

いますか。

【回答】【総務課長】音量の調整などは年一回行っていますが、窓を閉め切った状態での対応については、何か方法を考えていきたいと思

います。

【質問】緊急の場合には決まった信号を出す、という

大きなことも行わなければならないのではな

【回答】【総務課長】音が聞こえない、何を言っているのか分からない、などの問題もありますので、十分協議・検討し音を出していきたいと思

【質問】各個人の家に、スピーカーの貸し出しなどは行っていますか。

【回答】【総務課長】行政の区長や役場課長の家などにはスピーカーを設置し、緊急時の対応を

しています。各個人への貸し出しについては、管理などの問題が出てきますので、先ほど指摘された緊急時の放

送の完成度を高めていくことを、まず行っていき

たいと思

【質問】高齢の方などから借りたいという声も聞

【質問】ます。強い要望があった場合などは、貸し出しの検討もお願いしたいと思

【質問】動についてお尋ねします。12月4日に「音楽世界の旅」と題して、NHK交響楽団のメンバーと日本の

トップアーティストが、地域交流センターで公演を行いました。1,000円の入場料でしたが、非常に質

【回答】のの評価を頂きました。また入場料1,000円については、大変安いとの意見が圧倒的に多く、5,000円ぐらいが適当なのでは、という意見も頂

【質問】安くて質の良い公演は、町民にとっても非常に望ましいことではないかと思

【質問】望ましいことではあると思いますが、いろいろな催し物を開催して

ものを行っていただきたいと思います。次に移ります。予算書の中には、補償金・補てん金・賠償金などありますが、どのように使い分けをしているのですか。

【回答】【財政課長】補償金は、財産上の損害や精神上の損害を補うために要する経費のことです。補てん金は、地方公共団体がこ

【回答】る補償金です。

【質問】具体的補償対象は、どのようなものがありますか。

【回答】【財政課長】主なもの、道路関係の工事に係る補償金です。

【質問】補償金の算定をするときは、近隣類似地や同種物件の取引価格等を考慮し、相当な価格に

【質問】する土地収用法では決められておりますが、福智町ではどのように算定していますか。

【回答】【建設課長】道路の収用に関係する道路単価は、農地・宅地・金額等は決められていますが、

【質問】難しい場所や商用地などは、不動産鑑定士を入れて算定しています。

【質問】個人の財産権を侵害するわけですから、客観的にみて、妥当と思われる額を算定し、円満な

【質問】解決を図っていただきたい。



アンケートのお願い

福智町議会だよりは、平成19年12月に第1回目を発行し、今回で10回目となります。

議会活動を広く知ってもらうため、分かりやすい議会だよりを目指し、試行錯誤を繰り返しながら発行してきましたが、より良いものとするために、皆さまにアンケートのご協力をお願いしたいと思います。

本庁・各支所・中央公民館・金田分館・方城分館の計6ヶ所に、アンケート用紙を設置しますので、ご意見・ご要望などを、ぜひお聞かせください。

※3月いっぱいアンケート用紙を設置します。



ご協力よろしく申し上げます

傍聴に来ませんか

本会議開催中は、どなたでも議場（傍聴席）で傍聴できます。議場は、本庁（金田）4階にあります。白熱した議論を間近に見ることができますので、ぜひお越しください。

※各常任委員会も傍聴できます。

※傍聴するときは、議会傍聴の注意を守っていただきます。



編集後記

現在、日本は少子・高齢化や人口減少の急速な進行で、超高齢社会に突入しています。これを乗り切るため、新しい福祉社会のモデルとして、自助・共助・公助のバランスが取れた「地域で支える協働型福祉社会」の構築が急がれます。これを実現するには、国が年金・医療・介護・子育ての各分野で、最低限度の生活水準を保障しつつ、自治体が地域の実情に応じて、独自のサービスを提供することが必要です。そのためにも、中央集権型から、地域主権型に転換し、将来的には（国―道州―基礎自治体）の3層からなる、「地域主権型道州制」に移行し、国家公務員を現在の半分以下にする必要性を強く感じます。

―― 昨年末には寒波が到来し、1月・2月と寒い日が続き、冷え切った日本が、温もりと安心に包まれる社会になるよう、願うばかりです……

（杉本 数男）

